



学習の秋 運動の充実に向けて

—— 連合京都各専門委員会で学習会等を実施 ——



▲オムロン京都太陽株式会社工場の見学の様子
京都ジョブパークの各コーナー別窓口を見学▶

政策学習会

総合就業支援拠点や障がい者福祉工場を見学

9月28日、政策委員会は京都ジョブパークとオムロン京都太陽株式会社(福祉工場)を訪問。京都ジョブパークでは就業に関わる多彩な取り組みなど説明を受け館内を見学。また、オムロン京都太陽株式会社では、障がいで失われた身体的機能を機械で補っているしくみや、出入り口、通路、エレベーターなどの職場環境を見学。誰もが快適に働ける職場環境に、参加者は共生社会を実現するための環境整備の必要性を感じ、今後の政策活動に反映していこうと有意義に見学を終了した。

安全衛生研修会

職場・地域の防災対策を調査研修

10月21日・22日、労働安全衛生・中小対策委員会共催で安全衛生研修会を実施。人と防災未来センター・北淡震災記念公園・川崎重工株式会社兵庫工場を訪問。12年前の阪神淡路大震災時にできた野島断層を目の当たりにし、続いて川崎重工兵庫工場の新幹線・電車車輛の製造現場を見学した。川崎重工では、安全教育や防災対策、また技術技能の継承など活発な意見交換が行われ、今後の安全衛生活動でどのような社会的な取り組みができるのかという、重要な課題が提起された研修会となった。



▲保存されている野島断層を見学



▲川崎重工兵庫工場の概要説明を受けた

労働雇用対策学習会

働くものの公正なワークルール実現に向けて

10月19日、連合本部 山口洋子副事務局長を講師に迎え、労働雇用対策学習会を実施。働くものの公正なワークルール実現に向けて、最低賃金法などの労働関係三法案の取り組みと今後の動向について説明をうけ、参加者は熱心に耳を傾けた。



▲山口連合副事務局長より公正なワークルール実現に向けて講演を受けた

政策・制度の秋 安心・安全・公正な社会を

2008年度 京都府・京都市自治体要請を実施



▲京都府への要請の様子

木村連合京都政策委員長から
京都府作山労働政課長に
要請書が手渡された



連合京都政策委員会は、各構成組織や地協、各専門委員会、部門別連絡会からの要求を基に2008年度自治体要請をとりまとめ、10月24日に京都府、10月26日に京都市の各部局に対し要請行動を実施した。地域間や所得、労働条件など様々な分野で格差が拡大する中、安定的な雇用の実現に向けた要請を中心に、地域産業の活性化や子育て支援、医療、福祉、交通施策など、行政側と熱心な意見交換が行われた。年内に重点項目を整理し、京都府知事・京都市長に対し改めて要請を行う予定。



要請書の内容は、連合京都ホームページに掲載しています。
<http://www.labor.or.jp/rengo/>



▲総会で挨拶する木戸会長

研修会講演の
朝日新聞編集委員 竹信三恵子氏

連合京都議員フォーラムは10月25日、京都国際ホテルにおいてフォーラムに参加する国会議員・地方議員、連合京都役員・構成組織および地協代表者等約100名の出席のもと、研修会・第4回総会を開催した。研修会は、朝日新聞編集委員竹信三恵子氏から「格差是正の行方」と題した、雇用・労働の現状と格差是正についての講演を受けた。

総会は、経過報告などを承認後各地域での政策課題解決に向け、2008年度の運動方針を確認した。

連携強化に向けて

第3回京都雇用創出活力会議

仕事と子育ての両立出来る環境を

10月23日、京都府公館で木戸会長が参画する第3回京都雇用創出活力会議が開催された。少子化に伴う労働力の低下や若年者の就業について意見交換が行われ、また、仕事と子育てが両立できる職場環境の整備・推進が必要として、行労使による要請書を府内事業所に発信することが話し合われた。



▲堅く握手する
木戸会長・山田京都府知事・大宮経協会長

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくらう!
連合京都第10回定期大会
2007年11月2日(金) 10:00~
ラポール京都 ホール